CIADNAX



クイックスタートガイド 日本語版





内容



QuadMax 本体





Power Adapter/Cable 電源ケーブル・アダプター

USB Type-C Cable USBタイプCケーブル



QuadMax **Lithium Battery** 電源バッテリー(本体内蔵) クラブマーカーディスペンサー アライメントスティック



Club Marker Dispenser



Reflective **Alignment Stick**



メニューボタン メインメニューに戻ります

電源ボタン デバイスのON/OFF

LCDタッチディスプレイ タッチパネル式 ボールとクラブの設定、オプション メニューの設定等はこちらから

4トラッキングカメラ
 高速カメラ
 4つの高速カメラを使い、ボールと
 クラブデータを正確に計測します。





QuadMAX ディスプレイ



デバイスの認証

QuadMAXは45日ごとに認証をする必要があります。有効期限が切れた場合、認証が 完了するまでQuadMAXからすべてのデータチャネル (USB、イーサネットLAN、Wi-Fi) が制限され、使用できなくなります。

残り日数を確認するには、メニューボタンを押し「About」から画面に移動します。

QuadMAXは使用できる地域が固定されており、購入した地域(国)でのみ動作しま す。地域を確認するにはメニューボタンを押し「Patents」から画面に移動します。 この地域を変更または追加する必要がある場合は、代理店にご連絡ください。

QuadMAXを登録する

1. QuadMAXをForesight Sportsソフトウェアアプリケーション (FSX Play、FSX 2020、または FSX Pro) に接続します。

QuadMAXは、コンピュータがインターネット(LAN)に接続されている限り、Foresight Sportsソフトウェアアプリケーションに接続するたびに認証を完了します。認証はす べての接続タイプで行われ、有効期限が切れていない場合でも更新されます。

2. QuadMAXをイーサネット(LAN)経由でインターネットに直接接続します。 QuadMAXは、イーサネットを介してルーターなどに直接接続すると、オンライン登 録を完了します。イーサネット経由の登録には通常 45 ~ 60 秒かかります。イーサ ネット ケーブルの最初の接続時に登録が成功しなかった場合、再起動が必要になる 場合があります。

スタート

QuadMAXを正しく使用するには、ショットエリアから約55cm離れた水平な面に立 てて置きます。ショットマットを使用する場合は、QuadMAXをショットする高さと 同じ高さまで上がっていることを確認してください。平らでない表面でも安定性を 高めるためには、底面のキックスタンドを開いて安定させてください。



水平になるように置く



QuadMAXの電源を入れるには、電源ボタンを押して離します。約30秒の間、バッテ リーの寿命、シリアルナンバー、ファームウェアのバージョンを示す起動画面が表 示されます。QuadMAXの準備ができるとLEDランプが点滅します。Q電源を落とすに は、電源ボタンをもう一度押して離します。シャットダウンには数秒かかり、画面 とLEDランプがオフになります。



電源ON時の表示画面

メインメニュー

QuadMAXのメインメニュー画面を開くには、ディスプレイの左上にあるメニューボ タンを押します。メインメニューは次の内容で構成されます。



画面上の選択したいメニュー項目をタッチし、左上の[<]をタッチして1 画面戻ります。 「menu」ボタンを押すと、どこからでもメインメニューにすぐに戻ることができま す。 モード

メニューボタンを押してメニューを表示し、「TRACKING MODE」ボタンを選択して トラッキングモードメニューを開きます。QuadMAXには3つのモードがあり、クラ ブ追跡モードとボールのみモードは購入すると自動的に有効になり、パッティング モードは有料オプションです。(次ページ参照)クラブ追跡モードが有効にならな い場合は、代理店にご連絡ください。パッティングモードの追加ご希望の場合も、 代理店にご連絡ください。





クラブ追跡モード

ONまたはOFFボタンを押して、クラブ追跡モードを有効または無効にすることができます。

QuadMAXはゴルフボールとゴルフクラブの両方を計測します (クラブ計測にはゴル フクラブにマーカーの貼り付けが必要です)このモードでは、 QuadMAXには緑色の LEDインジケーターが表示されます。 QuadMAXは、クラブがどのように計測された かに基づき、1ドットデータと4ドットデータの2種類の計測結果を表示します。1 ドッデータまたは4ドッデータのクラブマーカーの貼り付け方法については、「クラ ブマーカーの付け方」を参照してください。



パッティングモード(有料オプション)

トラッキングモードメニューから、ON/OFF ボタンを押してパッティングモードを 有効または無効にします。パッティングモードを有効にすると、パターからさら に多くのパフォーマンスデータを得ることができます。(追加ご希望のお客様は 代理店にご連絡ください)







ボールのみモード

クラブ追跡が無効になっている場合、QuadMAXはゴルフボールのみを追跡します。 このモードでは、デバイスには青色のLEDインジケーターが表示されます。



ターゲットの調整

アライメントスティックを使って、ターゲットアライメント(目標方向)を最大 ±10度まで調整することができます。アライメントを調整するには、認識エリアに アライメントスティックを置き、ターゲットに合わせます。インジケーターライト が黄色点灯されたら完了です。完了したらアライメントスティックを外してくださ い。ターゲットは常時再設定ができますが、メニュー内の「Target Alignment」に て「Reset」を押すとリセットされます。



ボールの配置と打撃

QuadMAXのオンスクリーン配置補助機能は、認識エリアに対するゴルフボールの位置を表示します。ゾーンの中心はQuadMAXの前面から約56センチの位置にあり、エリアのサイズはモードによって異なります。クラブ追跡が有効になっている場合、 ゾーンのサイズは約36センチx36センチ、無効になっている場合、46センチx36センチです。



ステータスインジケーター

右利きモードと左利きモードの切り替えは、LCD画面のLRボタンで行うことができ ます。現在のモードは、LEDインジケーターで確認できます。 カメラによってボールが特定されると、画面上に配置補助が表示され、文章で次の いずれかが示されます。

LEDがゆっくり点滅

前回のショットデータが画面に表示されます。

No ball is detected by cameras. カメラではボールは検出されません。

LEDが高速点滅

Ball out of hitting zone ボールが認識エリア外

The ball is not detected in the ball find zone and must be moved inside.

ボールが認識エリア内で検出されないため、範囲内に移動する必要があります。

Too many balls detected 認識されたボールが多すぎます。

More than one ball is detected in the zone, excess balls should be removed.

ゾーン内に複数のボールが認識された場合、余分なボールは取り除く必要がありま す。

LEDは点灯したまま

Ready 準備ができています。

The ball is inside of the hitting zone and the device is ready for the shot.

ボールは認識エリア内にあり、ショットの準備ができています。

QuadMAXのステータス	インジケーターの色
ボールのみモード	ブルー
クラブ追跡モード	グリーン
パッティングモード	パープル
スイングスピードトレーニング	アンバー

保管とメンテナンス

QuadMAXを保管する前に、必ず電源がオフになっており、バッテリーが取り外されていることを確認してください。Foresight Sportsでは、損傷を防ぐために、元のパッケージまたはキャリングケースに入れて、涼しく乾燥した環境でQuadMAXを保管することを強くお勧めします。

バッテリーの取外し



本体裏のスタンドを開き、両側のロックを外したら取外しできます。

バッテリーの品質を保つには、完全に本体の放電を行い、充 電がなくなったら充電を行うということで保持されます。

クラブマーカーの付け方



アイアンとパター

ウッド・ハイブリッド

デバイスの接続

QuadMAXはUSB、イーサネット、Wi-Fiで他のデバイスに接続できます。

イーサネット

FSXゲーム環境に接続、またはPCに直接接続するための推奨方法 ネットワークに接続するための適切な接続 直接接続する場合は、イーサネットケーブルの片側をForsightデバイスに接続、 もう片側をPCに接続します。 ネットワーク接続の場合は、片側をForesightデバイスに接続し、もう片側を ネットワークに接続します。

USB

FSXゲームのPCへの接続に推奨される接続方法 ファームウェアアップデートのための唯一の接続方法です。 USB-CをForesightデバイスに接続し、USB-AをPCに接続します。

Wi-Fi (パスワード: FSSPORTS)

Foresightアプリの適切な接続方法 **FSX**ゲームの**PC**への接続に適した接続方法

設定

メニューボタンを押してメニューを表示し、「Setting」ボタンを押してこのメ ニュー項目を表示します。設定を変更すると、画面を終了すると自動的に保存され ます。



SETTINGS画面の選択項目		
velocity	速度	
distance	距離	
spin mode	スピンモード	
face angle 고	7ェイスアングル	
air pressure	空気圧	

システム情報

メニューボタンを押してメニュー項目を表示し、「System Info」ボタンを押します。 ここには4つの画面があり、左上の目的の番号を押すことで画面が切り替わります。 最初の画面では、デバイスのパフォーマンスに関する問題を診断するために必要な 画像を保存するオプションがあります。このショットの保存はトラブルシューティ ングツールであり、練習データを記録する方法ではありません。ショットの保存中 は、ファイル名が表示されます。ショットの保存には最大 60 秒かかる場合があり ます。デバイスをUSB 経由でコンピューターに接続すると、必要に応じて保存した ショットを送信してテクニカルサポートと共有できるようになります。

2番目の画面には、バッテリー診断情報とファームウェアバージョンが表示されま す。3番目の画面には、センサー診断情報が表示されます。4番目の画面には、使 用可能なフラッシュメモリやショット/セッション情報などのシステム診断情報が表 示されます。



ABOUT

メニューボタンを押してメニュー項目を表示し、「ABOUT」ボタンを押します。4 つの画面があり、左上の目的の番号をタッチすることで画面が切り替わります。

最初の画面には、QuadMAXのシリアル番号とQRコードが表示され、デバイスを Foresightアプリとペアリングするのに役立ちます。

2番目の画面には、さまざまなオンボードファームウェアバージョン、モデル番号、 製造日、およびハードウェアバージョンが表示されます。



3番目の画面には、使用可能なアドオンモジュールのステータスが表示されます。 4番目の画面には、システム情報が表示されます。



スピードトレーニング

メニューボタンを押し「Speed Training」ボタンを押します。「スタート」を押し てこのモードを開始するとLEDインジケーターがオレンジ色に点滅します。この モードでは、QuadMAXはスイングスピードデータを計測するために、ボールまたは ボールの打ち出しを探す必要がなくなります。認識エリアを通過する単一の基準点 を持つクラブを継続的に探し検出されると、クラブヘッドスピードを画面上の単一 のデータポイントとして表示します。計測されないまま5分経過するとタイムアウ トし、ボール検索動作に戻ります。

スピードトレーニングモードを最大限に活用するには、認識エリアの中央にマー カーを置いて、スピードトレーニングのスイングに適切な場所を示します。これを 行うには、QuadMAを標準の計測モード(ボールまたはクラブが有効になっている場 合も可)にし、QuadMAXディスプレイを使用してボールの配置を確認しながら、認 識エリアの中央にボールを置きます。エリアの中央が見つかったら、ボールを小さ な平らなマーカーに置き換えます(ボールマーカーまたはティーを地面に完全に押し 込むとうまく機能します)。これで、QuadMAXをスピードトレーニングモードに設 定し、配置したマーカーの真上でスイングを行うことができます。



マイタイル

QuadMAXのマイタイル(MyTiles)機能により、ディスプレイ上のデータの表示と タイミングを作り変えることができます。この機能は、QuadMAXをスマートフォ ンの Foresight アプリ(日本国内サポート外アプリ)とペアリングし、プリセット を作成してからQuadMAXに送信することで機能します。

QuadMAXとForesightアプリのペアリング

QuadMAXとForesight アプリのペアリングは次の2 つの方法で行うことができます。 1つ目の方法は、メインメニューのマイタイルに移動し、QR コードを画面に表示し ます。表示された QR コードをスマートフォンでスキャンします。(スマートフォ ンに Foresight アプリがインストールされていない場合、アプリストアに移動して アプリをインストールします)アプリがインストールされている場合、アプリが開 き、QuadMAXとペアリングして マイタイルを作成できます。2つ目の方法は、 ForesightアプリからQuadMAXの登録を実行します。(実行する前に、QuadMAX の 電源がオンになっていて Bluetoothの範囲内にあることを確認してください)この 方法では、電源がオンになっていて範囲内にあるQuadMAXが表示され、接続したい 機器を選択します。

新しいプリセットを作成する

Foresightアプリのマイタイルの項目から、新しいプリセットを作成して QuadMAX に送信できます。新しいプリセットを作成するには、画面の数 (最大 3 画面) を選択 し、各画面を選択して表示するデータを決定します。データは1、2、3、4、または 6のデータを選択し構成します。画面 1 に表示されるデータを選択し、画面 1 を表 示する希望の時間を選択します。残りの画面に対してこの操作を繰り返します。作 成したら名前を付け、使用するプリセットとしてQuadMAX に送信します。 Foresightアプリでは複数のプリセットを作成でき、最大 5 つを QuadMAX に送信で きます。使用するプリセットは、QuadMAX のメインメニューのマイタイルメに移 動してQuadMAX デバイスで変更できます。

マイタイルメニュー

QuadMAX ホーム画面から、メニューボタンを押し、画面上の MyTiles ボタンを押 すと、マイタイルメニューを表示します。マイタイルメニューから、使用するプリ セットを選択します。デフォルトのデータ構成は、「DEFAULT」プリセットで選択 できます。マイタイル機能の使用に関する追加手順は、Foresight アプリ内にありま す。

\square	FØRESIGHT	
	MY TILES	0
	Connect to the Foresight App and follow the instructions on the screen.	
L		R
	ROUTINES	

セッションキャプチャ

メニューボタンを押し「SessionCapture」ボタンを押します。セッションキャプ チャを開始するには、「新しいセッションを開始」ボタンを押します。セッション キャプチャ機能を使用すると、練習データを保存して、後で QuadMAX から Foresight アプリに送信し、確認することができます。セッションキャプチャが開始 されると、ボール検索画面に [rec] アイコンが表示され、ショットデータが保存され ることを示します。完了したら、QuadMAX の電源をオフにするか、「セッション キャプチャ」メニューに戻ってデータの保存を終了することができます。

デバイスをForesightアプリとペアリングし、QuadMAXからデータを送信します。 送信すると、そのデータはQuadMAXから完全に削除されます。QuadMAXは最大 5 つの練習データを保存でき、セッションキャプチャメニューに現在デバイスに保存 されている数が表示されます。データ送信方法の詳細については、Foresightアプリ の説明を参照してください。



ライセンス有効国の確認(※通常は日本のみ)

ニューボタンを押してメニュー項目を表示し、「Patents」ボタンを押します。この ページには、デバイスの日本国内ライセンスとその他に利用できる国のリスト、お よび承認された地域情報と著作権情報が表示されます。海外持ち出しにはオプショ ンで追加する必要があります。詳しくは代理店にお問い合わせください。



安全性について

- 異物や水が装置に入った場合は、本体電源を切り、電源アダプターケーブル、 USBケーブル、イーサネットケーブルを抜き、バッテリーを取り外してください。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 本体を分解、変更、または修理しないでください。感電の原因となり、 メーカーの保証が無効になります。
- ●本体は、高湿度、煙、または埃が原因で故障する場合がございます。
 ●QuadMAXは、ボールの衝撃に耐えるように設計されています。 ただし全てに耐久性があるわけではございません。
 ボールが原因で装置または液晶画面が損傷した場合や、異常が起きた場合、 電源を切り、使用を中止してください。
- ●本体に付属の電源アダプターのみを使用してください。
 その他の電源アダプターまたは充電器がQuadMAXまたはバッテリーに損傷を 与える可能性があり、火災や感電の原因となります。
- QuadMAXは、正確に構成された4つのデジタルカメラを使用します。 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 使用後は本体を常に安全で乾燥した、ほこりのない場所に保管してください。



QuadMAX専用の電源アダプターケーブル、USBケーブル以外を使用しないでください。 また、差し込み口に指定以外のケーブルを接続しないでください。 その影響で故障と判断された場合は、保証外になる場合がございます。

